みんなで「せいふてぃまっぷ」を作りませんか？

1　目　的

子ども一人ひとりの自分を守る力の向上、地域全体での見守り活動の推進

子どもたちの安全を守るためには、子ども自身が犯罪・交通事故に遭わないための力を身に付けること、地域ぐるみで子どもを守る取組や防犯・交通安全意識の向上など、地域社会の日常的な連携や協力が必要である。

地域安全マップづくりを通して、子どもがまちを知り、安全な場所を知ることにより、危険を回避する力を身につけること、地域住民が参加することにより、顔の見える関係を作り、地域全体で子どもを守るきっかけづくりや意識の向上を目的に実施する。

2　参加者

児童、地域団体（町内会こども会、保護者）など



3　内　容

(1)　事前学習（10 分）

- ✓　複数グループ（1 グループ 5 人程度）に分ける。
- ✓　マップづくりを通して、自分で自分を守る力を身に付ける。
- ✓　安全な場所、危険な場所のキーワード「入りやすい・見えにくい」を学ぶ。
- ✓　役割を決定する。（リーダー、副リーダー、地図係、撮影係等）



(2)　**フィールドワーク**（20 分）

- ✓　子どもが疲れない程度で回れる 500m～1 kmを目安とする。
- ✓　安全な場所を探す。（交番、こども 110 番、コンビニ等）
- ✓　危険な場所を探す。（入りやすく、見えにくい場所）
- ✓　ビブスなど目印となるものを着用する。

(3)　地図作製(15 分)

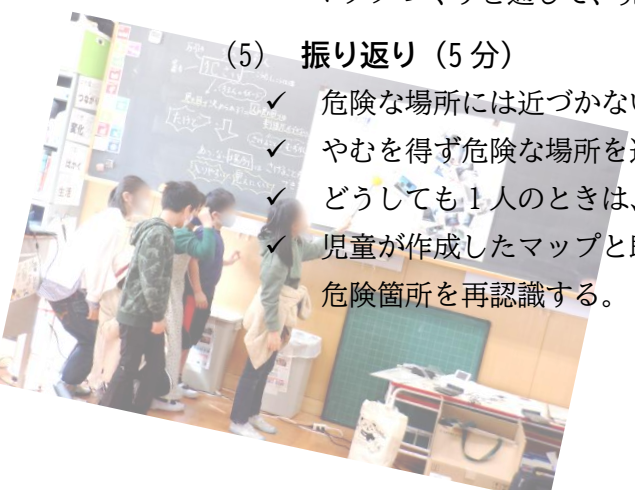
- ✓　学校、公園、駅、店、道路、川や学校など、歩いた場所、危険な場所を記入する。
- ✓　写真を貼る（コメントを付ける）。理由を考える。

(4)　**発表**（10 分）

- ✓　マップづくりを通して、発見したことについて、キーワードを使って発表する。

(5)　**振り返り**（5 分）

- ✓　危険な場所には近づかない。
- ✓　やむを得ず危険な場所を通るときはひとりで行かない。
- ✓　どうしても 1 人のときは、周囲に注意して通る。
- ✓　児童が作成したマップと既存のせいふてぃマップを照らし合わせ、危険箇所を再認識する。





麻生区役所危機管理担当

メール　73kikika@city.kawasaki.jp